

検査証

当製品は弊社の厳重なる検査に合格したことを証します。

品管

検査

●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ!

愛情点検	こんな症状はありませんか	
	<ul style="list-style-type: none"> ●スイッチを入れても所定の時間で充電しない ●通電中に異音、異臭、あるいは発煙する ●ヒューズがすぐ切れる ●ストロボ電源部やヘッドに触るとビリビリと電気を感ずる ●その他の異常や故障があるとき 	<p>このような症状のときは直ちに使用を中止してACプラグをコンセントから抜いて、弊社営業所または販売店にご相談ください。</p>

●ストロボ電源部、ヘッドは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用する人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。

取扱い説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。

●上記のような症状がなくても1年に1～2回は点検を受けられるようおすすめします。

アフターサービスについてのご相談は

COMET®

コメット株式会社

本社	〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5786 FAX.(03)5916-5872
コマーシャル部	〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5789 FAX.(03)5916-5876
仙台営業所	〒981-8003 仙台市泉区南光台4-29-25	TEL.(022)727-6521 FAX.(022)727-6523
東京営業所	〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5788 FAX.(03)5916-5875
東京営業所 ストロボクリニック課	〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5794 FAX.(03)5916-5878
名古屋営業所	〒464-0075 名古屋市中千種区内山3-1-1	TEL.(052)735-9077 FAX.(052)735-9088
名古屋営業所 ストロボクリニック課	〒464-0075 名古屋市中千種区内山3-1-1	TEL.(052)735-9077 FAX.(052)735-9088
大阪営業所	〒550-0015 大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.(06)6536-0671 FAX.(06)6536-4020
大阪営業所 ストロボクリニック課	〒550-0015 大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.(06)6536-0671 FAX.(06)6536-4020
福岡営業所	〒812-0008 福岡市博多区東光2-8-17	TEL.(092)411-1202 FAX.(092)411-1209
福岡営業所 ストロボクリニック課	〒812-0008 福岡市博多区東光2-8-17	TEL.(092)411-1202 FAX.(092)411-1209
海外事業部	〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5786 FAX.(03)5916-5872

COMET

CAX-ヘッド

取扱説明書

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。
- 注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の意味



△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容(左図は感電注意)を示しています。



⊘記号は、禁止行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図は分解禁止)を示しています。



●記号は、具体的な指示内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図はプラグをコンセントから抜いてください)を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告



- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

電源部には、メインスイッチを切り AC コードをコンセントから抜いた後も、内部には長時間高電圧が残っており、感電のおそれがあります。また、発光部も電源部へ接続した状態では高電圧がかかっており危険です。十分注意をしてください。



- 水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態や素足での操作はしないでください。

漏電による感電の恐れがあります。



- 使用中のヘッドに水滴などがかからないようにしてください。

使用中のヘッドはキセノン管、モデリングランプが高温になっています。水滴などがかかるとガラスが破裂する恐れがあり、大変危険です。取扱いには十分注意をしてください。



- ヘッドコードプラグは電源部の出力コネクタに確実に差し込んでください。また締め付けリングのあるタイプは差し込み後、リングを回転し締めつけてください。

プラグの接続が不確実な場合、スパークにより発火の恐れがあります。



- ヘッドは発光時、高温の熱を発生します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。

火傷や火災の恐れがあります。



- 揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。

爆発、火災、火傷の恐れがあります。



注意



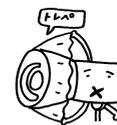
- 使用中や使用直後のヘッドは、かなりの高温になっています。十分温度が下がってから取り扱ってください。

火傷の恐れがあります。



- ヘッドを使用中は、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。

使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。



- ヒューズやモデリングランプは指定の定格品を使用してください。

定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。

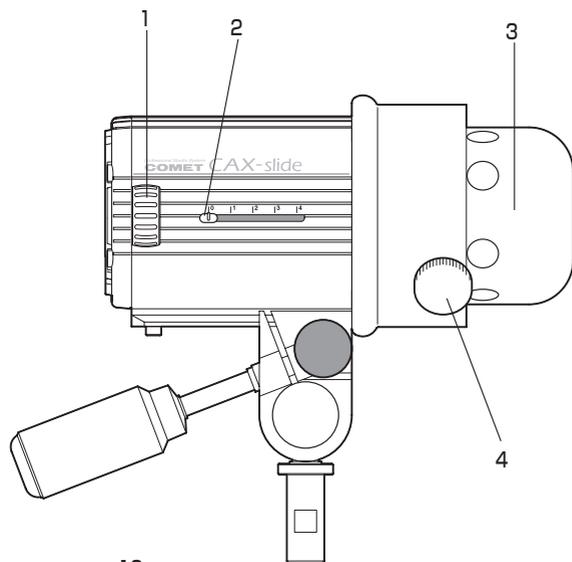


- 落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。

外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。



1 各部の名称



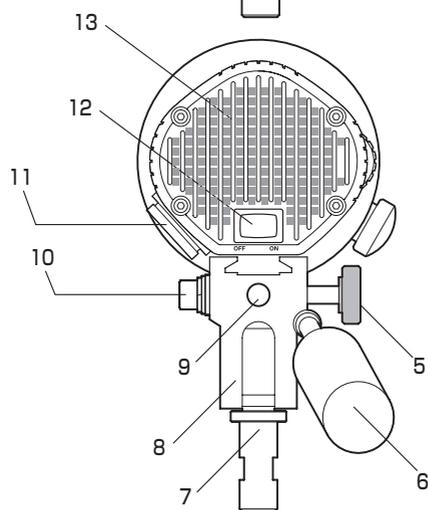
< CAX-32 スライドヘッド >

1 放電管スライドダイヤル

2 放電管ポジション表示

3 放電管ユニット

4 リフレクター固定ネジ



5 アンブレラ固定ネジ

6 パン棒

7 ダボ(φ 17)

8 雲台

9 アンブレラ用穴

10 雲台固定ネジ

11 入力コネクター

12 モデリングランプスイッチ

13 吸気口

【ご注意】

・使用中や使用直後は放電管ユニットはかなりの高温になります。
紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、ヘッド本体の吸気口を覆っての使用はおやめください。発火、火災の恐れがあります。

2 照射角度の調節

● CAX-HS をご使用の方

- ・放電管スライドダイヤルで放電管を最大 40mm スライドします。
上に回すと放電管が前にスライドし、下に回すと後ろにスライドします。
- ・放電管の位置は放電管ポジション表示を目安にしてください。
- ・照射角度は使用するリフレクターにより異なります。

< CAX-HS CX-A リフレクター使用 >

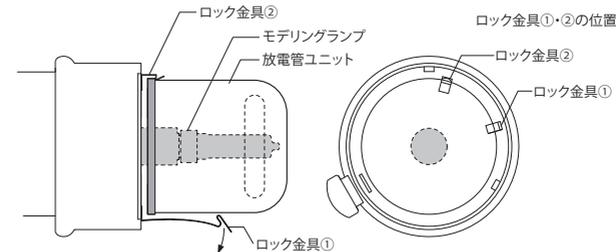
放電管ポジション	0	1	2	3	4
照射角度	52°	61°	74°	85°	93°

(- 1EV)

3 放電管ユニットの交換

● 放電管ユニットを引き抜くとき

1. 電源部のメインスイッチ(MAIN)を「OFF」にし、必ずヘッドコードのプラグを電源部から抜き取ってください。
2. 放電管スライドダイヤルを回して放電管ポジション表示を「4」の位置に合わせます。
3. 放電管ユニットは発光部本体のロック金具①②でロックされています。
まずロック金具①を親指で外方向に広げます。
放電管ユニットを軽く上下に動かしながら手前に引き抜きます。
上下に動かすことでロック金具②が放電管ユニットのベースから外れます。
ロック金具②が外しにくい場合は、マイナスドライバーなどで金具を外方向に広げます。
放電管ユニットの交換は、ヘッド本体をテーブルなど安定した場所に置いて手でしっかり固定してください。
また、放電管ユニットの中央にあるモデリングランプに接触しないようご注意ください。



● 放電管ユニットを取り付けるとき

1. 放電管スライドダイヤルを回して放電管ポジション表示を「0」の位置に合わせます。
2. 取り付けるときは、ソケットの位置を合わせてまっすぐに押し込んでください。
このとき、放電管ユニットのロック金具が「カチッ」と音がするまで押し込んで、ロック金具がかかっていることを確認してください。

4 モデリングランプの交換

1. 電源部のメインスイッチ (MAIN) を「OFF」にし、必ずヘッドコードのプラグを電源部から抜き取ってください。
2. リフレクターをはずし、放電管ユニット交換の手順にそって、取り外してください。
3. モデリングランプはスクリューベースですから、取り外すときは反時計方向に回し、取り付けるときは時計方向に回してください。



■使用直後は非常に高温です。
充分温度が下がってから取り扱ってください。
火傷の恐れがあります。

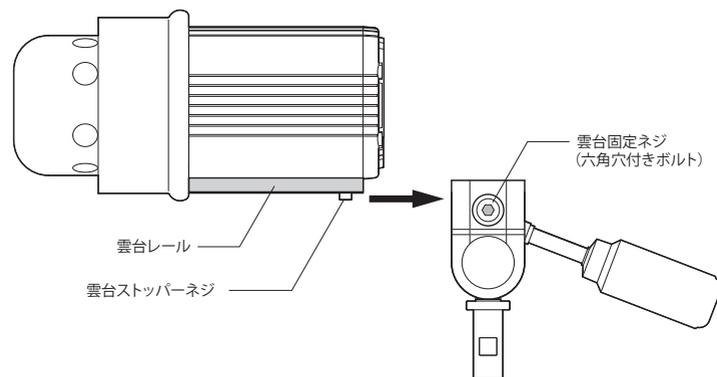
【ご注意】

- ・モデリングランプは直接素手でふれないようにガラス部分をビニール袋のまま持って取り付けてください。もし、指紋やよごれがついたときは、アルコールなどで拭き取ってください。



5 雲台の脱着

1. 雲台ストッパーネジを六角レンチ (2.5) で外します。
2. 雲台固定ネジを六角レンチ (付属) でゆるめて、スライドして外してください。
3. 取り付けるときは雲台をレールにスライドして差し込み、所定の位置で雲台固定ネジをしっかりと締めつけてください。
4. 雲台ストッパーネジを元の位置に締めつけます。



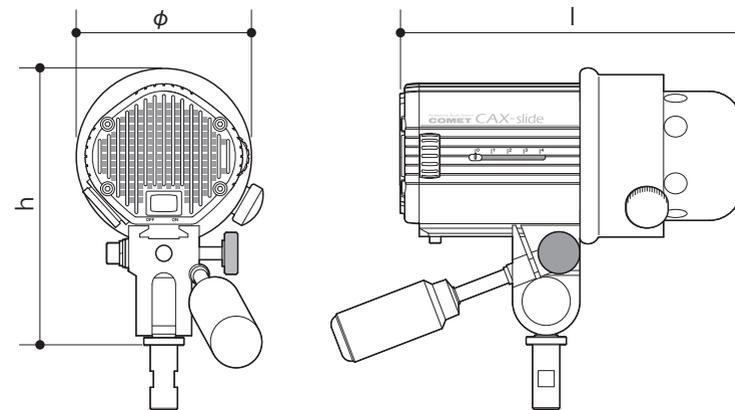
6 仕様

品名	CAX-32CQヘッド	CAX-32ヘッド	CAX-32スライドヘッド
型式	CAX-32CQH	CAX-H	CAX-HS
最大入力	3200Ws		
放電管	32CQユニット (フロストガラスグローブ付)	32CAXユニット (フロストガラスグローブ付)	
放電管移動範囲	—		40mm
モデリングランプ	ハロゲンランプ 最大250W		
モデリングスイッチ	アリ		
クーリングファン	内蔵		
ヘッドコード	5m 脱着式		
適合リフレクター	CX・CRタイプ		
雲台	CAヘッドタイプ (脱着式)		
スタンドダボ	φ17mm (W3/8ネジ付)		
アンブレラ軸穴	φ6mm~φ10mm		
寸法	109 (φ) × 171.5 (h) × 212.5 (ℓ) mm (ガラスグローブ含む)		
重量※2	1.22kg	1.2kg	1.4kg

※ 重量はモデリングランプ・リフレクター・ヘッドコードを含みません。

【ご注意】

- ・ヘッド内部の温度が上昇し、所定の温度を超えると温度センサーが働き、モデリングランプが消灯します。このときストロボは発光しますが、すみやかに使用を中止して、点検をお受けください。



< CAX-32 スライドヘッド >